



■ 防災訓練の実施

① 瑞穂市総合防災訓練

糸貫川運動公園において、自衛隊、木曾川上流河川事務所、各協定事業所や消防団の協力のもと震災に対する応急対策及び関係機関との連携を迅速かつ確実に行うよう災害対応能力の向上及び習熟を図るため総合防災訓練を行いました。訓練では、各種車両展示やトリアージ、協定事業所による物資支援、消防団による操法展示、瑞穂市女性防火クラブ連絡協議会等による炊き出し訓練等を行いました。

② 避難所開設・運営訓練

避難所となる小中学校体育館等を会場とし、避難所ごとに避難所開設・運営訓練を開催しました。避難経路の確認、避難者の受付手順の確認に加え避難経路の確認、備蓄資機材の設置などの訓練を行いました。



■ 防災情報通信

① 同報系防災行政無線

災害時における情報伝達の迅速・正確・円滑性を図り、市民の生命財産の安全を確保すること及び、平常時に一般行政事務の効率化を図ることを目的に、市内に全89基の子局を設置しています。令和5年度は、10基の子局をデジタル化しました。

② みずほ市民メール及びLINE（ライン）

防災行政無線による放送を補完するため、放送内容、気象情報、イベント情報など市からの様々なお知らせをメール及びラインにて、放送と同時に送信を行っています。また、令和5年度からは、学校等連絡システム「ずぐる」との連携を始めました。

（令和6年2月末現在の登録数は、累計で15,355件です。）

なお、放送と同時に市HPにて、放送内容の掲載を行っています。



■ 防災備蓄

① 備蓄資機材の充実

避難所を運営するために必要な備蓄資機材の備蓄を進めています。

令和5年度は、パーティション、エアマットレス、備蓄用燃料缶、段ボールベッド、アルファ化米、栄養機能食品、飲料水を購入しました。

② 備蓄物資の充実

災害時に配慮が必要な方（要配慮者）に向けた備蓄品や食料の備蓄を進めています。令和5年度には、トイレトーパー、おむつ、生理用品を購入しました。



■ 災害時応援協定

① 応援協定の締結

令和5年度は、中北薬品株式会社、大塚製薬株式会社、スマイルプリーズMIZUHOの3社と防災に関する協定を締結しました。

現在までに67の事業所等と防災に関する協定を締結しており、災害に強いまちづくりに向けて取り組んでいます。



■ 防災士養成講座及び防災リーダーの育成

① 防災士養成講座の開催

各自治会から推薦された者や地元の消防団を対象に防災士養成講座を開催しました。今年度は、地域に根差した瑞穂市防災士が49名誕生しました。

② 防災講演会及び防災リーダー研修会の開催

自治会長、自治会役員、防災士等市内の防災に関わる方々を対象に防災講演会を開催しました。また、市内の防災士を対象にNPO法人レスキューストックヤード代表理事の栗田講師をはじめ多数の講師をお招きし、防災リーダーの育成を行いました。



■ 啓発、その他

① 出前講座等の実施

自治会、小中学校、子育て支援センター等へ出向き、防災に関する講座を行っています。





■ 瑞穂市総合防災訓練の実施

令和6年度は、職員を対象とした総合防災訓練の実施を予定しています。令和6年元日に発災した能登半島地震の教訓から、職員の初動対応を重点においた訓練を検討しています。

■ 避難所確認訓練の実施

避難を予定している自治会毎に避難所へ集合し、避難所の自主運営を目指した訓練を実施します。また、当訓練の実施を自治会連携によるものとし、より避難所運営協議会設立に向けた意識の啓発を目指します。

■ 防災行政無線デジタル化の推進

穂積・牛牧小校区に設置している防災行政無線の子局をアナログ波対応から、デジタル波対応の機器へ更新を行います。

■ みずほ市民メール及びLINE（ライン）登録の推進

みずほ市民メール及びLINE（ライン）及び「すぐーる」の登録者の増加を目的に、様々な機会を捉えて啓発活動を行います。

■ 防災士養成講座の開催

防災・減災に長けた人材を速やかに多く確保するため、市独自で防災士養成講座を開催します。

新たに資格を取得された人材を中心に、防災に関する人材の組織化を目指し、市内の防災教育や防災啓発活動など資格を生かした活動や自治会・校区組織との防災面での連携、そして特に避難所運営協議会などの組織作りとその運営・体制に深くかかわる活動など地域の防災力向上を図ります。

■ 消防力の強化

小型動力ポンプの更新、災害時チェーンソーの購入など、災害時に備えた備蓄品の強化を予定しています。

■ 防災備蓄品の充実

食糧、飲料水等の防災備蓄品を計画的に購入し備蓄を継続します。また要配慮者のニーズをとらえた備蓄品の備蓄を進めます。

■ 外国人に対する防災・減災啓発の推進

外国人に対する防災・減災対策として、多言語翻訳や音声読み上げ機能のあるカタログポケットに防災読本を掲載し啓発を行います。

■ 防災リーダー研修会の開催

市内の防災士を対象に防災リーダー研修会を開催します。避難所の運営や組織作りなどについて研修を受けた市内の防災士により瑞穂市防災士会（仮称）を設立することを考えています。自治会で行われる防災訓練や避難所開設訓練などを通じて、有事の際に適格な避難行動を判断できる人材の育成に努めています。